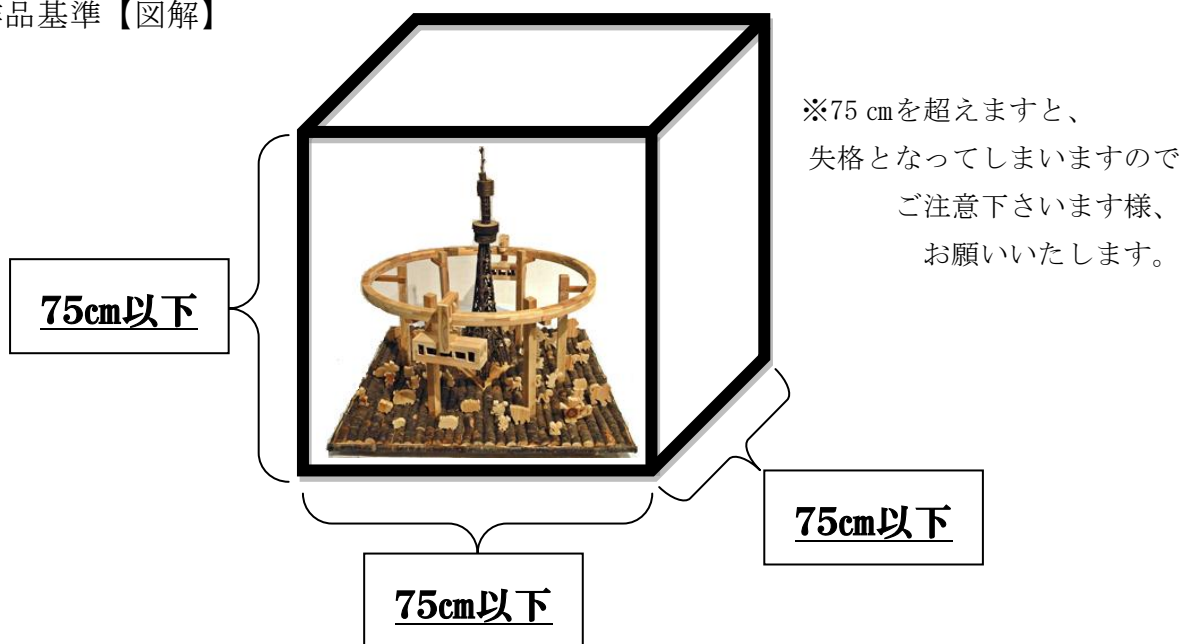


## 作品基準【図解】



## 審査方法

審査は、作品の現物を確認して、審査委員会によって厳正に行います。  
公平な審査を行うため、出品県会団・学校名・生徒名は公表しません。

## 審査のポイント

木工工作を通して子供たち一人一人が自分と向き合い、自己表現や他者理解を通して心を豊かにすることを主旨としており、子供たち一人一人が感じ、表現することを大切に考えております。技術的に高度な作品よりも、子供たちの才能、自主性、思いが伝わる作品を大きく評価しております。各賞の中には、接着剤を使わないものや、子供一人で作った独創性に優れたもの、木材をふんだんに使ったもの、木材の本質を活かしたもの等々を評価した賞もあります。

各学年としての発想に留意し、下記の各項を満たすもの。

### ○子ども自ら考え

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. ファンタジーや夢があるか
4. 木の自然の良さ・持ち味を活かしているか
5. デザイン・機能が優れているか

### ○親子で共同制作したもの

1. 誰がどのように協力したのかを記載してください。

### ○児童・生徒が複数名で作成したもの

1. 作成人数とどのように作業を分担して作成したかを記載してください。